

里山整備や自然観察会等を通じた里山保全・保護活動

発表者 押田正雄、山家公夫

I 団体名 里山の会 ECOMO

- (1) 設立年月日 : 平成 15 年 6 月 21 日
- (2) 構 成 人 数 : 正会員 16 人、準会員 14 人、賛助会員 9 人
- (3) 活 動 拠 点 : 滝まなびの森、本埜小学校の周辺

II 活動目的

活動の目的は、里山保全と里山に親しむ活動を通して、広く自然保護の精神を広め、かけがえのない里山等の身近な自然を次世代に引き継ぐことにある。あわせて、本会の活動が地域の人々の心豊かで健康的な生活に寄与することを願っている。

III 今年度に計画した事業活動の具体的内容

- (1) 里山保全の活動 (まなびの森、ホタル観察地)
 - ①まなびの森の下草刈り、倒木等の撤去、ウッドデッキの撤去
4月5日、11月22日、12月6日 20人
予定:1月10日、2月7日(チップ作業)、27日
 - ②ホタル観察地の清掃、観察路の整備
5月5日、6月29日、7月7日、10月7、14日、19日、21日
11月30日、12月21日 42人
予定:1月18日、25日、2月15日
- (2) 自然観察会 ※本埜公民館との共催行事
 - ① 春の里山観察会 4月5日(土) 7人
 - ② ホタル観察会 7月5日(土) ※ 28人
 - ③ 帳とトンボの観察会 7月12日(土) ※ 11人
 - ④ キノコ観察会 10月4日(土) 5人
 - ⑤ 秋の里山観察会 11月8日(土) ※ 22人
- (3) 学習会
 - ① タケノコ狩りと山菜調理等 5月31日(土) 9人
 - ② ミニ草履づくり 9月20日(土) 14人
 - ③ わら細工学習会(亀づくり) 予定:1月17日(土)
 - ③ ホダギづくり(ヒラタケ菌打ち) 予定:2月14日(土)
- (4) 生物調査
 - ① 秋の鳴く虫観察・調査(クツワムシ等) 9月21日(土) 5人
 - ② ニホンアカガエルの卵塊調査 予定:2月中旬から3月中旬(有志調査)
- (5) その他
 - ①小学校の里山学習に協力(里山学習講師や協力員 5人)
本埜小学校3、4年生、(5月1日、10月28日)・・・観察会
5年生(5月8日、7月1日、9月8日)・・・・・・稲作体験
 - ②社会福祉協議会本埜支部の里山ウォーキング時、講師として協力 6月19日

IV 結果および考察

(1) 里山保全の活動

- ・ ウッドデッキが老朽化したので撤去
- ・ 整備活動の継続でヤマユリ、フデリンドウ、キンランが安定的に生育している。
- ・ 散歩やジョギングをする人など里山を身近に感じる人が増えてきている。
- ・ 小・中学生や他団体が里山を学習の場所として活用している。
- ・ 整備する人数が限られている。高齢化も進んでいる。
- ・ ナラ枯れや老木の倒木が多く発生しており、撤去作業を継続中

(2) 自然観察会

- ・ 講師のお陰で参加者は里山自然を五感で触れ楽しむことができている。
- ・ 観察会の講師を務める会員が出てきた。更に講師を増やしていきたい。
- ・ 参加者を増やすことが課題、身近な自然を愛し大事にする人を増やしたい。
- ・ 社会福祉協議会の活動支援（里山自然の保護に繋がる啓発）

(3) 学習会

- ・ タケノコ狩りと調理実習を継続実施、男の調理機会は親睦の機会として有益
- ・ キノコ栽培（昨年度）はナメコとシイタケであった。ナメコは一部収穫できた。
- ・ ミニ草履づくり及び藁細工の亀づくりは、講師の丁寧な指導で良い作品ができ大好評であった。会員2名が指導補助できるようになった。

(4) 生物調査

- ・ クツワムシは継続調査したが生息が未確認、気候変動か環境変化なのか。
- ・ アカガエルの卵塊調査は、モニタリング1000（環境省）として継続調査する。

(5) その他

- ・ ホタル発生地（耕作放棄地）が小学生の里山学習に継続活用されている。
- ・ ホタル発生地は、イノシシ生息場所になりそうなので頻繁に除草作業を実施

V 今後の活動方針

(1) 里山保全の活動

- ・ 倒木や枯れ枝の撤去等、多くの仲間を募って、継続して重点作業とする。
- ・ 竜腹寺地区の人々もホタル観察地の整備を実施、今後も地元の方々と連携して活動してゆく。

(2) 自然観察会

- ・ 五感で里山自然を感じ取れるように更に工夫する。
- ・ 自然に親しむ遊びを取り入れ、観察会の魅力を増やすようにする。
- ・ 会員も講師になれるように研鑽を継続する。

(3) 学習会

- ・ 木の実を使った工作やリース作り等、里山自然の魅力を活かす。
- ・ 里山整備作業時に、刈払い機やチェーンソー等の実習機会を設ける。

(4) その他

- ・ 印西市立本埜小児童に対する自然観察会や稲作体験に継続支援する。
- ・ 秋の鳴く虫（クツワムシ）調査、アカガエル卵塊調査の継続実施
- ・ まなびの森及びホタル観察場所で親睦会（里山整備作業時のティータイム等）を開催する。